

建築学専攻 修士課程 教育ポリシー

人材養成の目的

本課程では、高度な専門知識を修得し、最先端の建築・都市空間を創造するとともに、次世代の建築学や建築界を先導する人材の養成を目指している。技術とデザインを対照させながら、両者の調和と融合を図るため、2つのコースを用意しており、主に、建築学コースでは技術を追求する研究者、技術者、専門家、建築デザインコースではデザインを追求する建築家、研究者の養成を目的としている。

入学者に求める資質と能力

本専攻では、次のような資質と能力をもつ人材を求めます。

- ・建築学において全般的な基礎学力と専門領域の学力を有すること。
- ・多面的な捉え方、論理的な思考、創造、表現ができること。
- ・未知の領域に興味を持ち、挑戦する気概、積極的な研究意欲を有すること
- ・建築を取り巻く世界を理解し、専門知識を生かし、社会の発展に貢献する志を有すること。
- ・国際的に研究活動や創作活動を行うための基礎的な語学力を有していること。

入学者の選抜方針

上記の資質と能力をもつ人材を選抜するために、本専攻では、英語外部テストのスコアなどの出願書類に加えて、建築学一般と希望専門分野に関する筆答試験、および、専門知識と進学後の研究計画等に関する口頭試問を実施します。また、英語外部テストのスコアなどの出願書類と、専門知識と進学後の研究計画等に関する口述試験による選抜も実施します。

修得する能力

本課程では、上記の目的のために、次のような能力を修得することを目指す。

- ・専門分野の研究、創作、技術開発において事物の本質を理解し、論理的に思考、創造、表現する学力。
- ・多面的な広い視野にもとづく知識を修得して、専門知識との関連を理解する能力。
- ・専門分野の研究、創作、技術開発において専門知識を活用して実践に導く能力。
- ・国際的視野にもとづく研究、創作、技術活動における潮流を理解し体系化する能力。
- ・日本語および英語による論理的な説明、論述、議論ができる能力。

教育内容

本課程では、上記の能力を身に付けるために、次のような学習内容を設ける。

A)専攻専門科目

建築学の専門科目において、講義、討論、発表、演習などを通して、建築学全般における基礎的学力を再確認しながら、実践に向けた高度な知識を履修する。

B)周辺領域専門科目

他分野から専門知識を見直すとともに、他分野への適応能力を修得するため、広い多面的な観点や知識を履修する。

C)修士論文研究

専門分野において創造性を育成する科目として、課題を設定し、研究、創作、技術開発を行い、成果論文にまとめる。その過程において少人数による議論や討論を行い、発想、思考、創造、表現を実践し、修得する。

D)実践研究スキル

専門分野に関する研究、創作、技術開発のために、演習、実験、実習などを通して、少人数による議論や討論を行い、発想、思考、創造、表現の向上を図る。

E)論理的対話スキル

修士論文研究において、専門知識に基づき論理的な説明や議論ができる能力などを修得する。

学位の授与方針

本課程を修了するためには、次の要件を満たさなければならない。

1. 34 単位以上を大学院授業科目から取得していること。
2. 本専攻で指定された授業科目において、つぎの条件を満たすこと。
 - ・講究科目を 8 単位取得していること。
 - ・専攻専門科目を 12 単位以上、他専門科目を 2 単位以上取得していること。
 - ・大学院教養・共通科目群の授業科目より 2 単位取得していること。
3. 修士論文審査および最終試験に合格すること。